広報みぶ

2017
2
No.693

主な内容

引っ越しの季節到来 …… 3
第68回壬生町成人式 …… 4～5

「広報みぶ」・「おしらせ版」が変わります

平成29年４月から下記のとおり、発行回数及び発行日が変わりますのでお知らせいたします。

現在、広報紙は「広報みぶ」を月１回、「おしらせ版」を月２回発行しておりますが、４月からは、両方の内容を併せて発行することにより、情報を一元化し、皆様がわかやすい広報紙を発行いたします。

これまで、広報紙では掲載しきれない詳細な情報は町公式ウェブに掲載するなど、複数のメディアにより情報を発信してきました。発行回数を変更した後も、掲載内容や紙面構成などを工夫しながら、町公式ウェブやケーブルテレビなどの広報メディアを活用し、皆様に必要な情報をお届けしていきます。

広報紙の発行形態の変更

	発行広報紙名	発行回数	発 行 日
29年３月まで（現在）	広報みぶ	月１回	毎月23日
	おしらせ版	月２回	毎月８・23日
29年４月から（変更後）	広報みぶ（広報みぶとおしらせ版を併せて１冊にして発行）	月１回	毎月１日

問合せ先　町総務部総合政策課情報広報係　☎81－1814

国保だより

国民健康保険の届出について

下記の事由により国民健康保険資格に変更が生じたときは、町役場窓口もしくは出張所へ必ず届出してください。

※印鑑（認印）、本人確認のできるもの（運転免許証等）、個人番号通知カードあるいは個人番号カードをお持ちください

	事　　由	手続きに必要なもの
国民健康保険に加入	他の市区町村から転入したとき	転出証明書
	職場の健康保険を喪失したとき	健康保険資格喪失証明書（被扶養者がいない場合は退職証明書でも可）
国民健康保険を喪失	他の市区町村に転出するとき	国民健康保険証
	職場の健康保険に加入したとき	国民健康保険証と加入した社会保険証
そ の 他 届 出	壬生町内で転居したとき	国民健康保険証
	世帯主や世帯員に変更があったとき	国民健康保険証
	修学等のため他市区町村へ住所を変更するとき	国民健康保険証と在学証明書等
	修学により壬生町国保を取得していた方が卒業・退学したとき	国民健康保険証と卒業証明書（卒業証書）・退学証明書等

※国民健康保険証を紛失したときは、印鑑、本人確認のできるもの（運転免許証等）、個人番号通知カードあるいは個人番号カードを持参のうえ、ただちに保険証の再交付申請をしてください。

★壬生町国民健康保険の資格を喪失したときは、医療機関等で壬生町国民健康保険の保険証を絶対に使用しないでください。上記のとおり、保険証を返還のうえ届出いただきますようお願いいたします。

問合せ先　町民生部住民課国保年金係　☎81－1832

引っ越しの季節到来

各種届出もお願いします！

いよいよ引っ越しの季節到来です。進学や就職、転勤などで引っ越しをされる方は、必ず届出をしてください。詳しくは「くらしの便利帳」や町の公式ウェブサイトをご覧いただくか、お電話にてお問い合わせください。

各種届出のときは、届出に来た方の本人確認書類（免許証や保険証など）とご印鑑が必要になります！

引っ越しの内容	届出の種類	届出の期間	注意事項
壬生町内で引っ越しをしたとき	転居届	引っ越した日から14日以内	
他市区町村から壬生町に引っ越して来たとき	転入届	引っ越した日から14日以内	前市区町村の転出証明書が必須です
壬生町から他市区町村へ引っ越すとき	転出届	引っ越しする予定の日の前後14日以内	

海外に渡航する際、長期間の滞在を予定されている場合（概ね１年間）には転出届をする必要があります。また、外国人の方が、再入国許可を得て長期間帰国する場合にも転出届が必要です。

個人番号カード、個人番号通知カード、住民基本台帳カード、在留カード、特別永住者証明書をお持ちの場合は手続きの際に必ずお持ちください。また、このうち通知カードについては本庁・出張所のどちらでも手続きできますが、それ以外のカードについては役場本庁住民課での手続きとなりますのでご注意ください。

※上記届出の際、その他関連する手続きが必要になることがありますので、**事前にお電話などでお問い合わせください。**

転校するとき

●町内の学校間での転校

転居届をする際に、転校前に在学していた学校の発行する「在学証明書」「教科書給与証明書」を持って手続きをしてください。

●町外への転校

在学していた学校の発行する「在学証明書」「教科書給与証明書」「日本体育・学校健康センターの加入に関する書類」を持って、転校先の市町村教育委員会で手続きをしてください。

●町外からの転校

転入届をする際に、転入前に在学していた学校が発行する「在学証明書」「教科書給与証明書」「日本体育・学校健康センターの加入に関する書類」を持って手続きをしてください。

【問合せ先】

町教育委員会学校教育課学校教育係

☎８１―１８７１

進学するとき

国民健康保険に加入されている方が、進学のため、他の市町村等に転出する場合、引き続き壬生町の国保に加入することになりますので手続きをしてください。

必要なもの

●国民健康保険被保険者証

●在学証明書　●印鑑

【問合せ先】

町民生部住民課国保年金係

☎８１―１８３６

手続き先

町民生部住民課　☎８１―１８２４

稲葉出張所　☎８２―１００２

南犬飼出張所　☎８６―０００４

【問合せ先】

町民生部住民課　☎８１―１８２５

平成28年度　男女共同参画推進講座

「明るい生きがいのあるくらしを築くための約束『家族経営協定』って何？」を開催しました。

１月14日（土）に稲葉地区公民館を会場に、栃木県女性農業士会　家族経営協定部会長　杉山悦子氏及び部会員の皆様をお招きして、男女共同参画推進講座「明るい生きがいのあるくらしを築くための約束『家族経営協定』って何？」を開催しました。

講座では、講話や寸劇、事例発表が行われました。寸劇は、家族経営部会員の方たちが、「家族経営協定」を分かりやすく、おもしろく演じて、家族経営協定の大切さを理解することができました。

家族経営協定は、家族内の話し合い運動です。相手を思いやる優しい気持ちが基本です。

家族内のことを話し合って、暮らしの現状を見直し、対応策を検討して、文書化することです。例えば、家事や育児の分担を話し合い、文書化すれば、一般の家庭でも役に立つのではないでしょうか？

新成人の門出を祝う

── 第68回 壬生町 ──

成人式

1月8日（日城址公園ホール（壬生中央公民館）大ホールで第68回壬生町成人式が行なわれ、新成人252名が参加しました。

新成人で構成された運営委員（早乙女大河委員長他19名）が受付及び式典の運営、そして式典終了後に行われたアトラクションの企画運営を行いました。また、中学生及び青少年のボランティア65名が新成人や来賓・恩師の受付、会場案内、記念写真撮影の誘導に協力しました。さらに、壬生町花の街づくりの会の皆さんが新成人を迎える玄関を色とりどりの花で飾りました。

成人式当日は、凛とした雰囲気のなか、滞りなく行われました。

第1部の式典では、主催者を代表して小菅一弥町長、来賓を代表して鈴木理夫町議会議長、佐藤勉衆議院議員、佐藤良県議会議員から新成人に向けたメッセージをいただき、みぶ吹奏楽団の皆さんによって国歌、町民の歌の伴奏が行われ、壬生町民の歌広報大使の松山美由紀さんの範唱に合わせて町民の歌が行われました。

第2部のアトラクションでは、運営委員が会議の中でアイディアを出して選んだ記念品の抽選会が行われ、第3部では恩師の先生方と記念写真の撮影を行い終了となりました。会場の外では色鮮やかな和服姿や凛々しいスーツ姿の新成人が互いの近況を報告しあったり、写真を撮りあったりと久しぶりの再会を楽しんでいる様子が見られました。

成人者代表あいさつ

本日は成人を迎えた私たちの門出に、このような盛大な式典を催してくださいまして、誠にありがとうございます。ただ今、壬生町長の小管一弥様をはじめ、ご来賓の皆さまから、温かいお祝いや励ましのお言葉をいただき、厚く御礼申し上げます。

新成人の皆さん、この成人式という節目を迎えるにあたり、自分の今までの人生を振り返ったとき、どのような事を思い出しますか。楽しかったことや辛かったことがたくさんあると思います。しかし、その思い出には必ず自分を支えてくれた、かけがえのない仲間、恩師の方々、地域の方々、そして家族の存在があると思います。成人式という節目をきっかけに、今まで自分を支えてくれた人たちに感謝の気持ちを伝えましょう。

さて、成人式を迎えると「大人になれる」という考えをもっている方もいますが、果たしてそうでしょうか。自分の行動に責任を持って行動する、ルールやマナーを守る、感謝の心を忘れない、といった大人としての自覚を持たない限り、本当の意味での大人になれないと思います。したがって、成人式とは自動的に「大人になれる」式典ではなくこの日を境に「大人になりなさい」という意味があるのだと思います。

しかし、私達は大人としてはまだまだ未熟です。社会に出て働いている者、日々学業に励む者、将来の道を模索している者、家庭を持って幸せに生活している者など、それぞれ歩んでいる道が異なる私達ですが、この晴れの門出を迎えた今、社会から大人として迎え入れられます。そのため、今日から少しずつ大人としての自覚をもち行動しましょう。一方で、大人になっても必ず辛いことや悩み事がついてくると思います。そんな時は一人で抱え込まず、頼れる仲間に相談しましょう。あなたの力になってくれると思います。また、あなたが頼られた時も助け合いの精神をもち仲間の力になってあげてください。たとえ一人では解決できないことでも仲間の支えや協力、応援があれば乗り越えることができると思います。お互いに切磋琢磨しながらこれからの社会を歩んでいきましょう。

本日、私達が元気な姿で集い、成人式を迎えられたのは、お世話になった恩師の方々、見守って下さった地域の方々、これまで支え育ててくれた家族、そして同じ時間を共に過ごした仲間達のおかげです。私たちは、この日を迎えられる喜びを噛みしめつつ、感謝の気持ちと大人としての自覚をもって精一杯努力します。まだまだ未熟ではありますが、私達が活躍するその日まで、温かく見守って下さいますようお願いいたします。

最後になりましたが、この式典を開催するにあたり、ご尽力くださいました皆様に、深く感謝申し上げます。

以上、簡単ではありましたが、新成人を代表致しましてご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

平成29年1月8日
新成人代表
早乙女大河

統計調査員を募集しています

統計調査の代表といえば「国勢調査」がありますが、その他にも毎年様々な統計調査が実施されています。壬生町では、国が実施する各種統計調査の調査活動にあたっていただく統計調査員登録者を、随時募集しています。興味のある方は、ご連絡ください。

☆今年度は、**「経済センサス-活動調査」 「社会生活基本調査」**が実施されました。
☆来年度は、**「工業統計調査」「就業構造基本調査」**が予定されています。

統計調査員の主なしごと

○調査員事務説明会に出席
○調査関係書類（名簿、地図など）の作成
○調査対象者（世帯、会社等）への「調査票」の配付と記入依頼
○「調査票」の回収及び点検
○「調査票」の整理及び提出

登録要件

○町内に住所を有する20歳以上で、健康で責任をもって統計調査を遂行できる方
○秘密の保護を遵守できる方
○警察官・税務署員及び選挙運動等に直接関係がない方

統計調査の依頼

○町では、調査の規模により「必要な調査員の人数」、 調査対象となる区域」等に応じて、調査員登録者の中から依頼をします。
○依頼方法は、町統計係からの電話によります。

担当する区域

○担当していただく「調査区」は、徒歩又は自転車での調査活動が可能と判断される範囲の中で決定します。

統計調査員の身分

○調査の都度、国や県が任命する「非常勤の公務員」です。なお、**調査活動中に災害にあった場合には、公務災害補償が適用されます。**
○一度の調査につき、任命期間は２か月程度です。

報　　酬

○法律や条例の規定に基づき、報酬が支払われます。一度の調査で、おおむね３～５万円程度です。

問合せ先　町経済部商工観光課統計係　☎81－1846

水道の閉栓手続きを忘れずに！

●引っ越しの日が決まりましたら、前もって水道課へ閉栓の手続きをしてください。（使用者ご本人からの手続きは、電話にてお受けしております。）ご連絡の際は、住所・氏名・引っ越し日時・引っ越し先をお知らせください。
●引っ越しまでの水道料金（精算分）は、前回の検針日から引っ越しまでの使用量をもとに計算いたします。
●連絡（閉栓の手続き）をいただきませんと、水道を使用されていなくても、引き続き料金がかかってしまいますので、必ず水道課へご連絡をお願いいたします。

問合せ先　町建設部水道課　☎82－2260　（徴収事務受託者　㈱日本ウォーターテックス）

「第29回壬生町公民館まつり」が盛大に開催されました！

ステージ部門

12月17日・18日の二日間にわたり、「第29回壬生町公民館まつり」が同実行委員会（外山幸江委員長）主催により城址公園ホール（壬生中央公民館）において開催されました。

展示部門では、18の団体が作品を展示し、その見事な作品の数々は来場者の目を釘付けにしていました。ロビーでは手編みの小物などを、正面玄関ではきれいな鉢物などが販売され、来場者に大好評でした。また、ステージ部門では、24の団体が日頃の練習の成果を存分に発揮し、華やかな発表が繰り広げられました。会場への来場者数は二日間で延べ2,000人以上となりました。また、福祉活動の一環として例年実施している募金活動では、参加団体や来場者から集まった募金が社会福祉協議会へ寄付されました。

展示部門

おもちゃのまちＤＥ おもちゃまつり2016

12月11日(日)、おもちゃ団地チャリティーバザール同時開催イベントとして、おもちゃ博物館館内のわくわく夢広場を会場に、今年も「おもちゃのまちＤＥおもちゃまつり2016」が開催されました。昨年大変好評だった、夢レールに大手メーカーの鉄道玩具の列車が登場、出発式を東武鉄道の協力で駅長さんが制服姿で実施しました。また、制服に着替えたなりきり駅長さんの子ども達も笑顔で記念撮影し、写真カレンダーとしてプレゼントされました。

また、特設コーナの物語ブースでは、おもちゃのまちをもっと全国に知ってもらいたいと制作されたPR動画の主人公ブリキが用意され、お子様や大人も変身し、思い思いのおもちゃまつりを楽しんでいました。

町商工会青年部が主体となる「おもちゃのまちＤＥおもちゃまつり実行委員会」のメンバーたちは、「皆さんに楽しんで頂き、おもちゃのＰＲ･活性化に繋がったのでは。無事に実施できてよかった。」と嬉しそうでした。

第45回おもちゃ団地 チャリティーバザール

12月10・11日の2日間、おもちゃ団地グラウンドをメイン会場として、おもちゃ団地冬の恒例行事、おもちゃ団地チャリティーバザールが開催されました。

今年も会場には、おもちゃ団地に事業所のある各企業や地元商店街によるテントが立ち並び、早朝から開門を待つ行列ができ、各テントには、様々なおもちゃや雑貨、文房具などを買い求める人の列ができていました。

会場は県内外から多くの来場者が訪れ、お目当ての商品を購入してたくさんの荷物を抱える人で、にぎわいました。

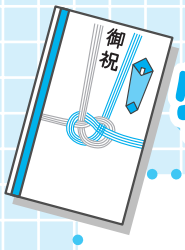
また今年はみぶブランドも出店し、お土産用の品として、壬生町の逸品を発信しました。なお、収益の一部は12月14日(水)におもちゃ団地協同組合より、町に寄附されました。

『社会教育委員の会議』を開催しました

12月２日(金)、役場ひばり館において、『第４回社会教育委員の会議』（小島佳苗委員長）を開催しました。

会議では、６月に実施した「地域活動に関するアンケート調査」の結果を分析し、子どもたちの自己有用感を育むためには、人と人との暖かいふれあいや周囲の人との良好な関係を構築していくことが大切であるとの結果が得られました。中学生や青少年の自己有用感を高めるためには、地域活動への取組を「参加」から人との関わりの経験がより多くなる「参画」へと高めていくことが重要であるとの結論に至りました。

そこで、『中学生及び青少年の自己有用感を高める地域活動のあり方に関する提言』を取りまとめ、教員委員会に提言することを決定しました。



特別敬老金100歳おめでとうございます。

大栗（おおぐり）　ミナ さん

大栗ミナさんが100歳の誕生日を12月15日に迎えられたため、町長がご自宅を訪問して敬老金を手渡しし、長寿をお祝いしました。

町長を穏やかに迎えてくださり、おっとりと優しい笑顔を浮かべて花束を受け取っていらっしゃいました。ご家族みんなで支えあい、またご本人の気力と生命力があってこそ１００歳を迎えることが出来たとのことでした。

これからもますますお元気で長生きをしていただきたいと思っています。

一色（いしき）　セイ さん

一色セイさんが100歳の誕生日を１月１日に迎えられたため、町長がご自宅を訪問して敬老金を手渡しし、長寿をお祝いしました。

町長を元気なご様子でお迎えになり、明るい笑顔を浮かべて花束を受け取っていらっしゃいました。ご家族やご近所の方たちや介護サービス事業所の手助けを受けて、はつらつとご自宅で生活していらっしゃいます。

これからもますますお元気で長生きをしていただきたいと思っています。

大垣（おおがき）　進（すすむ） さん

大垣進さんが100歳の誕生日を１月１日に迎えられたため、町長が入所先を訪問して敬老金を手渡しし、長寿をお祝いしました。

町長を穏やかに迎えてくださり、おっとりと優しい笑顔を浮かべて花束を受け取っていらっしゃいました。たくさんのご家族に囲まれて、にぎやかな１００歳のお祝いをなさったそうです。

これからもますますお元気で長生きをしていただきたいと思っています。

森田（もりた）　ハツ さん

森田ハツさんが100歳の誕生日を１月１０日に迎えられたため、町長が入所先を訪問して敬老金を手渡しし、長寿をお祝いしました。

町長を穏やかに迎えてくださり、ふんわりと優しい笑顔を浮かべて花束を受け取っていらっしゃいました。嬉しそうに何度もお礼を言ってくださる姿が印象的でした。

これからもますますお元気で長生きをしていただきたいと思っています。

※壬生町では、10年以上本町に暮らし、100歳を迎えられた方に、特別敬老金を贈り長寿を祝っております。
平成４年４月から実施している事業です。

【壬生町広報番組「壬生ホッとチャンネル」放送中】

「壬生ホッとチャンネル」では壬生町からのお知らせやイベント情報などのホッとな話題をお伝えします

壬生ホッとチャンネル(毎月1日更新/1日4回放送)
午前8時45分/午後0時45分/午後6時45分/午後11時15分
※番組の放送時間は、都合により変更になる場合がございます

栃木ケーブルテレビ 0120-25-1819

地上デジタル 111ch リモコン番号 11
CC9ステーション　今後の取材・放送予定

内　容	開催日	放送日
みぶの日フェア	3/5(日)	3/6(月)
第31回町民剣道大会	3/5(日)	3/7(火)

【CC9ステーション】毎週月曜～金曜 夕方6時更新
取材・放送の予定は予告なく変更の場合があります。予めご了承ください。

まちトピ

©TOMYTEC／イラスト：MATSUDA98

交通死亡事故が発生

１月20日(金)、壬生町あけぼの町の宇都宮・栃木線において、交通死亡事故が発生したことから、栃木警察署と町交通安全協会による交通安全街頭啓発活動を実施しました。交通安全チラシや広報品を配布しながら、交通安全を呼びかけました。

速度の出し過ぎは、危険の発見が遅れ、車の制御が困難になるなど重大事故の原因となります。スピードダウン運動で交通事故を防止しましょう。

人権擁護委員に
鯉沼玲子（こいぬまれいこ）氏が再委嘱

鯉沼玲子氏が、平成29年1月１日付けで法務大臣から人権擁護委員に再委嘱されました。

人権擁護委員は、地域の皆さんの人権に関する悩みごとなどの相談に応じるほか、街頭啓発活動や小・中学生を対象とした人権講話・ビデオフォーラムなどを通して、人権の大切さについての理解を深めてもらうなど、人権意識の高揚にも務めています。

寄せ植え作り教室を開催

12月13日(火)、下稲葉地内（マミーポットみぶ　ほ場）で、壬生町農村生活研究グループ協議会（大橋和枝（おおはしかずえ）会長）の活動として、お正月向けの寄せ植え作り教室が開催されました。

会の活動を広く知っていただく機会として、広報紙で募集した参加者の方々と交流を深めながら、それぞれ思い思いに華やかな寄せ植えを完成させました。

一般の参加者の方も会の活動に興味を持ってくださり、とても有意義な楽しいひとときになりました。

青少年育成指導員が街頭啓発活動を実施

壬生町青少年育成指導員会（落合義治（おちあいよしはる）会長）は、青少年の健全な育成を図ることを目的に街頭指導や環境浄化などの活動をしています。

去る12月17日(土)寒風の中、栃木警察署おもちゃのまち交番の協力のもと青少年指導員が、カスミおもちゃのまち店前やカワチおもちゃのまち店前等において、青少年健全育成や薬物乱用防止、ＤＶ防止などの街頭啓発活動を行いました。

また、町内のコンビニエンスストアなどを巡回パトロールしました。

地元と共に まごころサービス

鈴木自動車販売グループ

ロータスクラブ壬生車検センター	新車・中古車販売 くるま市店	オートサービス安塚給油所	サイクル&モーターショップ
鈴木自動車販売株式会社	スズキ販売壬生	スタンドスズキ	鈴木輪業
壬生町安塚1170-6	壬生町安塚793-18	壬生町安塚874-3	壬生町安塚1935
TEL:(86)0798	TEL:(86)3188	TEL:(86)0368	TEL:(86)0012
FAX:(86)0903	FAX:(86)3172	FAX:(86)0368	FAX:(86)0903

フリーダイヤル　0120-12-0798

南犬飼地区公民館
「まちかど文庫」からのお知らせ

まちかど文庫では、壬生町立図書館の本を「壬生町立図書館貸出文庫」としてみなさまにご提供しております。

平成26年４月、南犬飼地区公民館分館内に「まちかど文庫」が開設されて以来、現在に至るまでの間、多くのみなさまのご利用をいただいております。

平成28年７月からは、まちかど文庫及び壬生町立図書館の連携の一環といたしまして、同文庫の一角に「壬生町立図書館　貸出文庫」のコーナーが設けられ、同文庫のより一層の充実が図られております。なお、図書館から同文庫に貸し出される図書は、１回ごとに児童書100冊、一般書100冊の計200冊で、これらの図書が２か月ごとに更新されますので、どうか、よりいっそう多くのみなさまの、ご来館を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

教育・文化・スポーツの振興に取り組む

こんにちは！壬生町教育委員会です！

第82回

今月の「壬生論語古義抄」（35）

新しい論語素読のテキスト『壬生論語古義抄』から、章句を紹介します。

【三二】

子の曰く、父母の年は、知さずんばあるべからず。一つには則ち以て喜び、一つには則ち以て懼る。

（里仁第四）

先生が言われた。「父母の年齢は、記憶しておかなければならない。一つにはそれで長寿を喜び、一つにはそれで父母が衰えたことを恐れるのだ。」

【みぶまるから一言】

この言葉は、親孝行の第一歩として、父母の年齢を知っておくことの大切さを説いているね。父母の年齢を知ることで、その長寿を祝ったり、健康を気遣ったりすることができる。つまり、親孝行は親の年齢を知ることから始まるということだね。

毎週土曜日朝９時から10時まで、歴史民俗資料館で、この『壬生論語古義抄』を使った素読の教室《壬生論語古義塾》を開催しています。自由参加ですので、ぜひご参加ください。参加費は無料ですが、初回のみ３００円の資料代がかかります。

みぶブランド認定第１号

「みぶこよみ 2017年版」

定価1,080円（税込）限定発売中！

離れて暮らすご家族への贈り物に
遠くの友への近況報告に

１月からはじまる版、４月からはじまる版の２種類あります。

メディアユウ出版販売有限会社
壬生町中央町16-31 壬生交番前
TEL 0282-82-6773 担当：山縣

小学生からはじめる
ロボットプログラミング教室
生徒募集中！

※事前予約が必要となります

詳しくは・・・ アーテック　エジソンアカデミー　検索

ぱそこん生活・本舗　☎0282(82)1830
壬生町大師町6-3-103　定休日：日曜日、月曜日　受付時間：10時～17時

みんなの広場

わが家のアイドル

鈴木美和（すずきみわ）ちゃん
（H28.2.19生）
（おもちゃのまち）

大塚（おおつか）　湊（みなと）くん
（H27.2.15生）
（上町）

渡邉太翔（わたなべたいが）くん
（H27.2.1生）
（万町）

雄登（ゆうと）くん
（H26.2.5生）

中山陽葵（なかやまひまり）ちゃん
（H22.2.28生）

（至宝町南）

次回は４月生まれのアイドルを募集します。
【締　　切】３月10日（金）
【必要事項】氏名（ふりがな）（複数のアイドルが写っている場合はそれぞれ分かるように明記してください）、保護者名、生年月日、住所、電話番号
【申込方法】必要事項を明記の上、役場総合政策課または稲葉・南犬飼出張所・子育て支援センターまで
【申 込 先】町総務部総合政策課　情報広報係
〒321－0292　壬生町通町12－22
Eメールアドレス
sougo@town.mibu.tochigi.jp
【備　　考】写真は掲載後お返しいたしませんのでご了承ください。また、町子育てサイトのトップページにもお写真のみ掲載いたします。

歴史民俗資料館だより

地域に眠る文化財シリーズ
壬生古墳群の謎15

『史跡　車塚古墳』
―三ヵ年の調査により見えてきたこと―

車塚古墳については、平成26年度から町教育委員会、茨城大学、東京学芸大学の合同チームによる発掘調査を実施してきました。当初は、石室等が後世の人たちにより破壊されていても、地中には古墳が造られた当時の姿が部分的に残っているものと、簡単に考えていました。

ところが、いざ調査に入ると「掘っても、掘っても」古墳時代の土層が確認されず、出てくるものは江戸時代以降に焼かれた茶碗のかけらや、ガラス片ばかりの状態でした。とくに石室内の清掃調査を実施しましたが、中からは釘類や陶器片をはじめとするものばかりで、石室の床面もほとんど残っていない状態でした。

しかし石室内の奥壁側に当時の床に使われていた石敷きが確認され、石の隙間から耳環（じかん）やガラス製の小玉などが出土しました。多くの副葬品は盗掘され残っていませんでしたが、車塚古墳に眠る人物とともに埋葬された資料の一部が確認されたことは、大きな成果でした。また祭祀の場とされる「前庭（ぜんてい）」から出土した土器群も、古墳が造られた時期を絞り込むことができる最良の資料となることでしょう。

車塚古墳の調査から得られた最大の成果は、古墳の築造方法が見えてきたことです。

1　墳丘の表面を覆う葺き石の存在
2　墳丘を強固にするための、砂利層と墳丘内石積みの存在
3　石室直下に見られ基礎工事の痕跡（版築（はんちく）層など、何故このような大きな盛り土が約1500年経過しても崩れないのか、その理由が判明しました。

町教育委員会では、三ヵ年にわたる発掘調査の成果を、簡単なパンフレットにまとめました。町歴史民俗資料館において無料にて配布中です、ぜひご活用ください。

「提瓶」（さげべ）
お酒や水を入れる土器。

問合せ先
歴史民俗資料館
☎0282－82－8544

《お任せください》
皆様の暮らしを守ります
○壬生町水道施設維持管理業務
○壬生町清掃センター焼却設備運転管理業務
○日本下水道協会賛助会員 ○日本下水道処理施設管理業協会会員 ○東京商工会議所会員
セントラル工業株式会社
昭和49年2月設立 維持管理業全般 35年の実績
本　　社：〒150-0022　東京都渋谷区恵比寿南2-1-8　恵比須OTビル6階
栃木営業所：〒323-0807　栃木県小山市城東1-1-32-102

「生徒23人が熱演」

「16周年ダンス発表会」を3月19日（日）下野市グリムの館で開催します。生徒23人が出演します。社交ダンスを見たことがない人も、ぜひ会場に足を運んで、魅力を感じてみませんか。午後5時30分～8時30分。入場無料。来場者が自由に踊れる「ダンスタイム」のほかプロデモンストレーションがあります。
（問）ダンススタジオモリグチ
☎0282-82-8852 壬生町至宝３－８－６
（HP）http://www.dsmoriguchi.com/

第6回 新春書初め席書大会

1月7日（土）城址公園ホール（壬生中央公民館）において、書初め席書大会実行委員会（委員長谷田部龍峰氏）主催の第6回新春書初め席書大会が開催されました。

壬生町在住在学の小中学生40名が参加し、新春にふさわしく力強い書が披露されました。金賞の方々は、次の通りです。（敬称略）

金賞（文化協会長賞）受賞者一覧

氏　名	学校名	学 年
中谷（なかたに）　百花（ももは）	壬生小	1年
髙久（たかく）　智矢（ともや）	稲葉小	2年
品川（しながわ）　陽香（はるか）	壬生小	3年
中舘（なかだて）　和佳奈（わかな）	壬生東小	4年
廣澤（ひろさわ）　愛佳（あいか）	壬生北小	5年
小林（こばやし）　茉央（まひろ）	壬生小	6年
佐々木（ささき）　彩花（さやか）	南犬飼中	1年
髙久（たかく）　紗也加（さやか）	壬生中	2年

自主防災組織に待望の防災倉庫が完成

地域に根差した防災活動をしていただいている自主防災組織に、（一財自治総合センターのコミュニティ助成事業（地域防災組織育成助成事業）による宝くじの普及広報事業の助成を受けて、防災倉庫が設置されました。

コミュニティ助成事業とは、地域の防災思想の高揚、及び地域の自主防災組織の育成の為の事業です。

今回、防災倉庫が設置されたのは福和田自主防災会、城南自治会災害対策会の二つの組織です。各組織では防災倉庫の建設により、各地域の防災力向上への意欲を燃やしていました。自主防災組織の防災への熱い思いを壬生町及び（一財）自治総合センターは支援しています。

表紙の写真

1月29日（日）に栃木市総合運動公園で行われた、栃木県小学生駅伝競走大会での選手宣誓の写真です。

県内の小学生を代表して力強く宣誓を行いました。

私の作品

絵画「サクラの木」

睦小4年
椎名（しいな）　優斗（ゆうと）

睦小4年
岡（おか）　愛音（ちかね）

絵画「食べもの山」

町公式WEBも見てね！

©TOMYTEC
イラスト：みぶなつき

マチイロ

Androidの方　iOSの方

スマホ用アプリ（旧ｉ広報紙）

【まちのうごき】●総人口 39,778人（▲29）　男 19,753人（▲1）　女 20,025人（▲28）　●総世帯 15,605（17）　（　）内は前月比　平成29年1月末現在

広報みぶ　2月号　No.693
平成29年2月23日発行
発行人／壬生町役場　〒321-0292　栃木県下都賀郡壬生町通町12番22号　編集／総務部総合政策課情報広報係
電話0282-81-1814　FAX0282-82-8262　町公式ウェブサイト http://www.town.mibu.tochigi.jp
環境保護のため再生紙を使用しています。